

◆漁業士活用育成事業

平成26年度漁業士認定事業

水産海洋技術センター 牧野清人

1. 漁業士認定及び審査状況

漁業士制度は、地域漁業振興の中核的漁業者を育成する目的で昭和61年度から全国一斉にスタートした。本県も昭和61年度には6名の漁業士が認定されて以来、平成26年4月現在で51名となっている。その内訳は、名誉指導漁業士4名、指導漁業士31名、青年漁業士16名である。平成26年12月25日に県庁において平成26年度漁業士認定審査会を開催、3漁協、2市村より推薦を受け、青年漁業士養成講座を受講した青年漁業士候補3名について審査を行い、3名全員を認定した。

2. 平成26年度認定漁業士紹介

●青年漁業士

石川漁協 金城長洋

昭和 56 年 10 月 19 日生まれ（33 歳）

金城長洋氏は沖縄県立中部農林高等学校を卒業し、平成 18 年より父親、兄弟と共に潜水器漁業やパヤオ漁業に従事している。平成 23 年～ 24 年に漁協監事をしており、本年より漁協理事に就任している。若い漁業者が少ない石川漁協において、金城氏の役割は非常に大きく、今後漁業参入者に対して技術を伝え、後継者を育成する立場として期待されている。

●青年漁業士

与那城町漁協 前門進

昭和 50 年 8 月 12 日生まれ（38 歳）

前門進氏は与勝中学校を卒業し、6 年前に与那城町漁協の正組合員となり、主に魚介類の素潜り漁、延縄漁の他、平成 25 年からはモズク養殖業を手がけている。平成 25 年度発足した漁協青年部の立ち上げメンバーであり、現在副部長として地域イベント参加等に

より地元水産物の紹介、販促に一役買っている。県内外の先進技術の導入や技術交流、現場への普及に意欲的であり、地域漁業の中核者としての十分な資質を備えている。

●青年漁業士

宮古島漁協 谷口洋平

昭和 57 年 12 月 21 日生まれ、（33 歳）

谷口洋平氏は沖縄県立翔南高等学校卒業。マグロー本釣り、底魚一本釣り、モズク養殖業を行っており、周年通して漁業経営をしている。宮古島漁協で最年少の正組合員であり、若手漁業者の間でも中心的な存在である。漁協の部会や地域モズク生産グループで役員を務めるなど、地域リーダーとしての役割も果たしている。漁船漁業の技術も十分であり、また他地区の情報を仕入れ積極的に取り入れるなど勉強熱心でもある。



第20回青壮年女性漁業者交流大会における漁業士認定証授与

（右から谷口洋平氏、前門進氏、金城長洋氏、沖縄県農林水産部増村光広統括監）